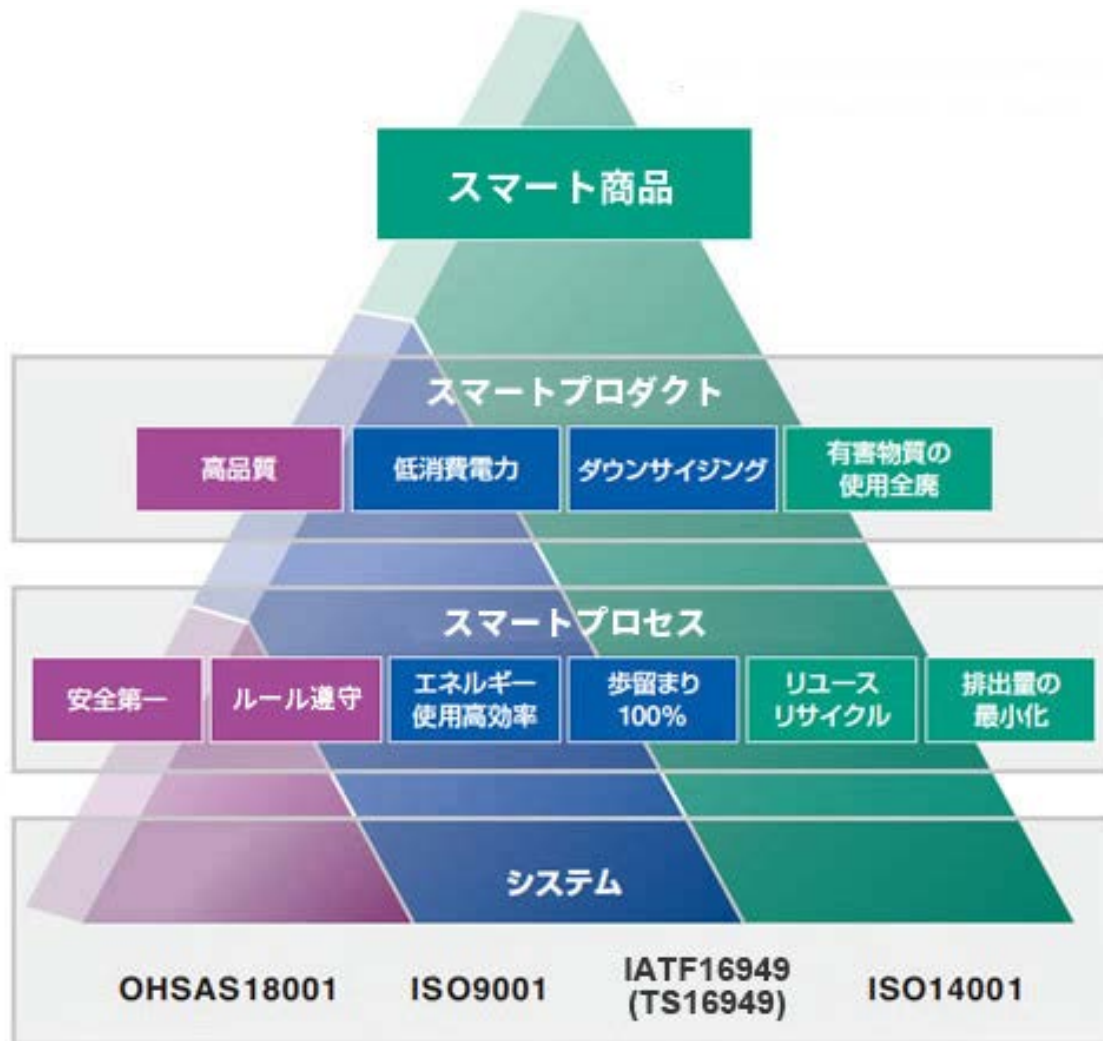


今後の経営方針

2017年5月10日

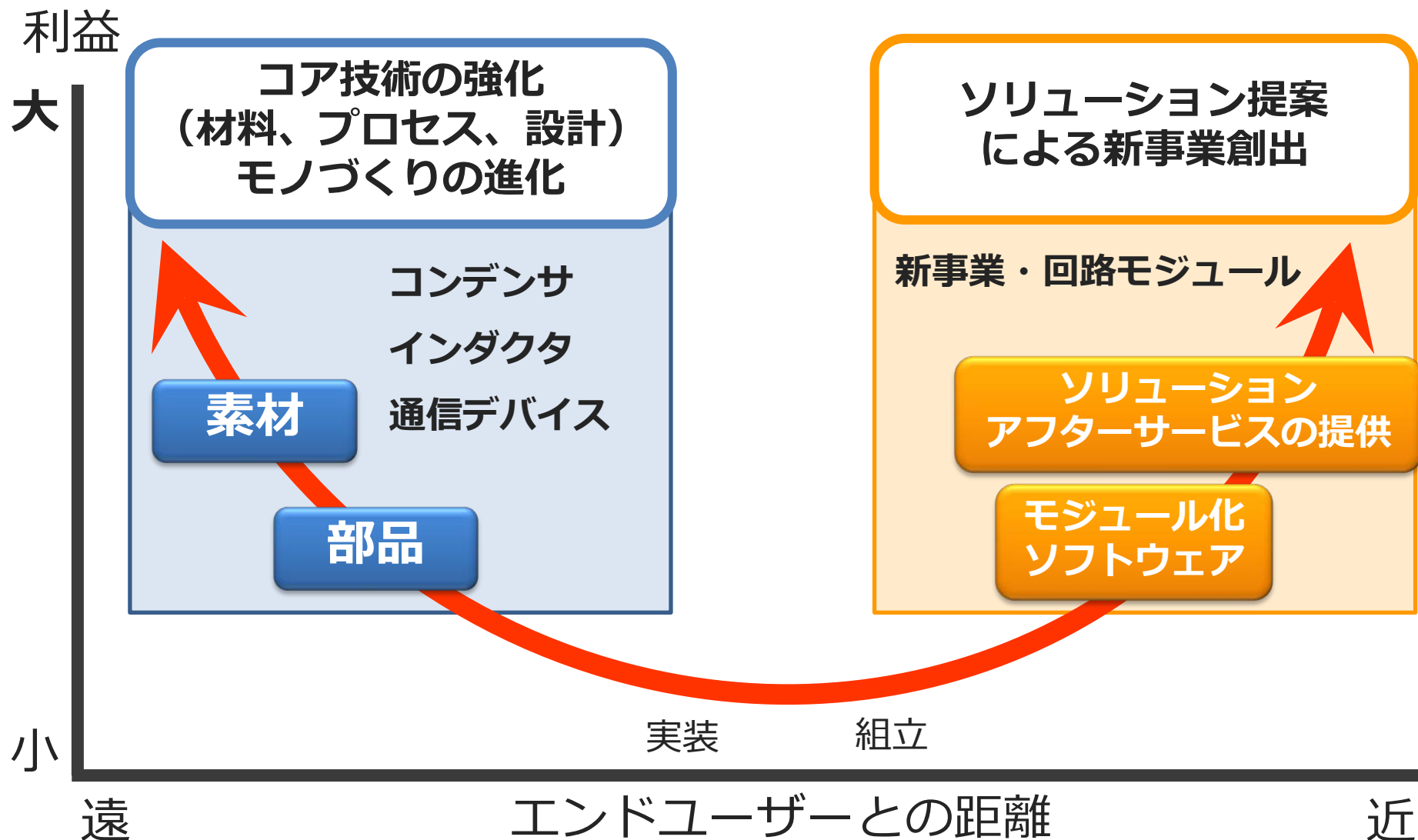
太陽誘電株式会社
代表取締役社長
登坂 正一

～ TAIYO YUDEN VISION ～ お客様から信頼され、感動を与えるエクセレントカンパニーへ



高収益体質に向けたビジネスモデルの変革

3つの『モノ』と1つの『コト』



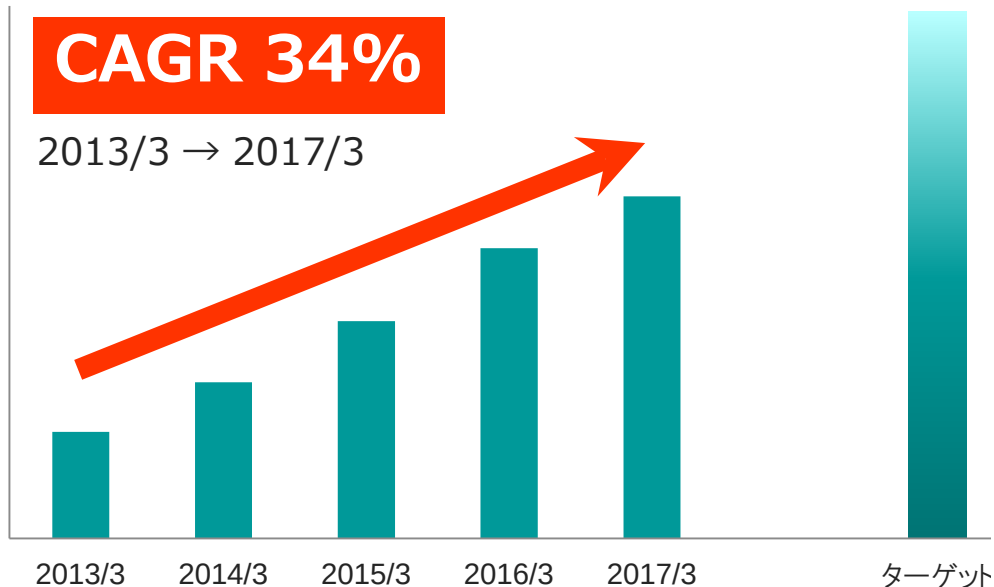
数値目標

売上高	3000億円
営業利益率	10%以上
ROE	10%以上

- 注力すべき市場*の拡大、売上構成比38%へ
*自動車、産業機器、エネルギー、医療・ヘルスケア
- モノづくりの進化（「smart. E」プロジェクト）
- 3年間で約1000億円規模の設備投資を継続

車載市場 ～注力すべき市場

当社 車載向け売上高推移



当社 車載向け売上構成比

2017年3月期 6%
↓
中期ターゲット **15%**

車載電子機器市場は 電子化とエネルギーが鍵

情報系
1.6倍

ボディ系
1.6倍



安全系
1.8倍

駆動系
1.7倍

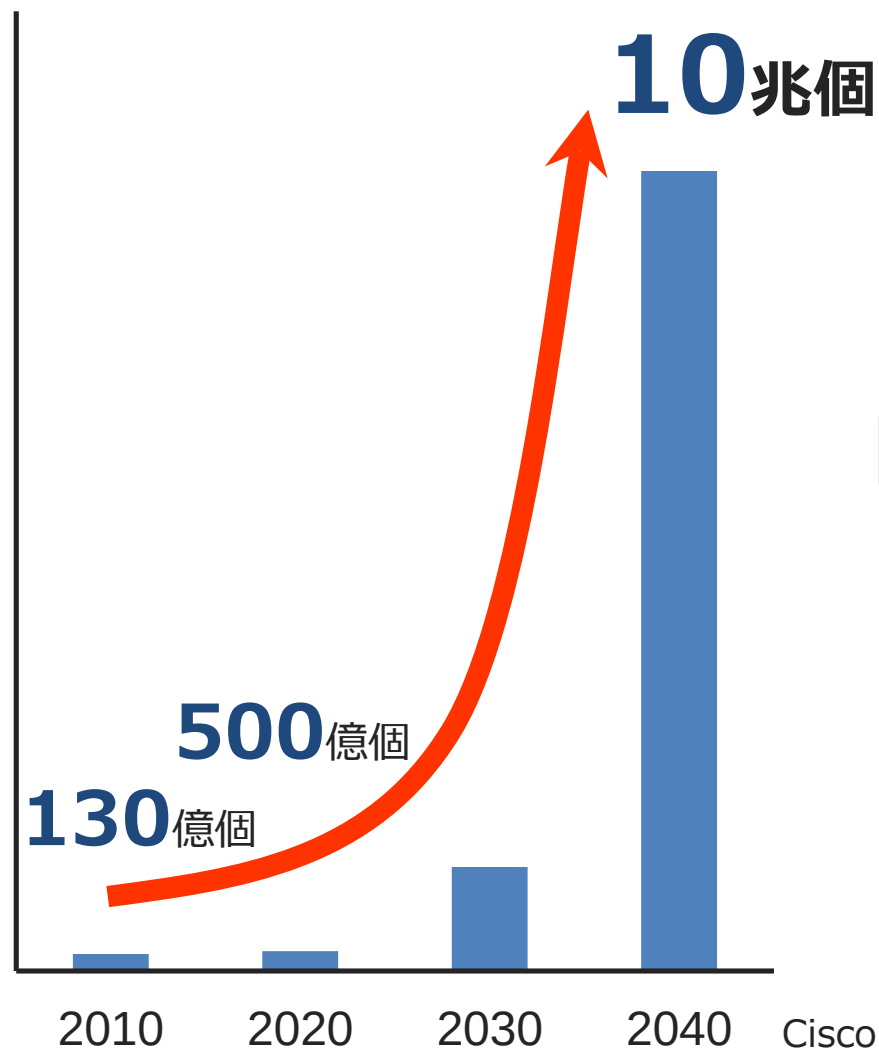
車載市場

19兆円 (2015) ⇒ 32兆円 (2025)
※当社推計

大型・高耐圧・高信頼の
電子部品需要が増加

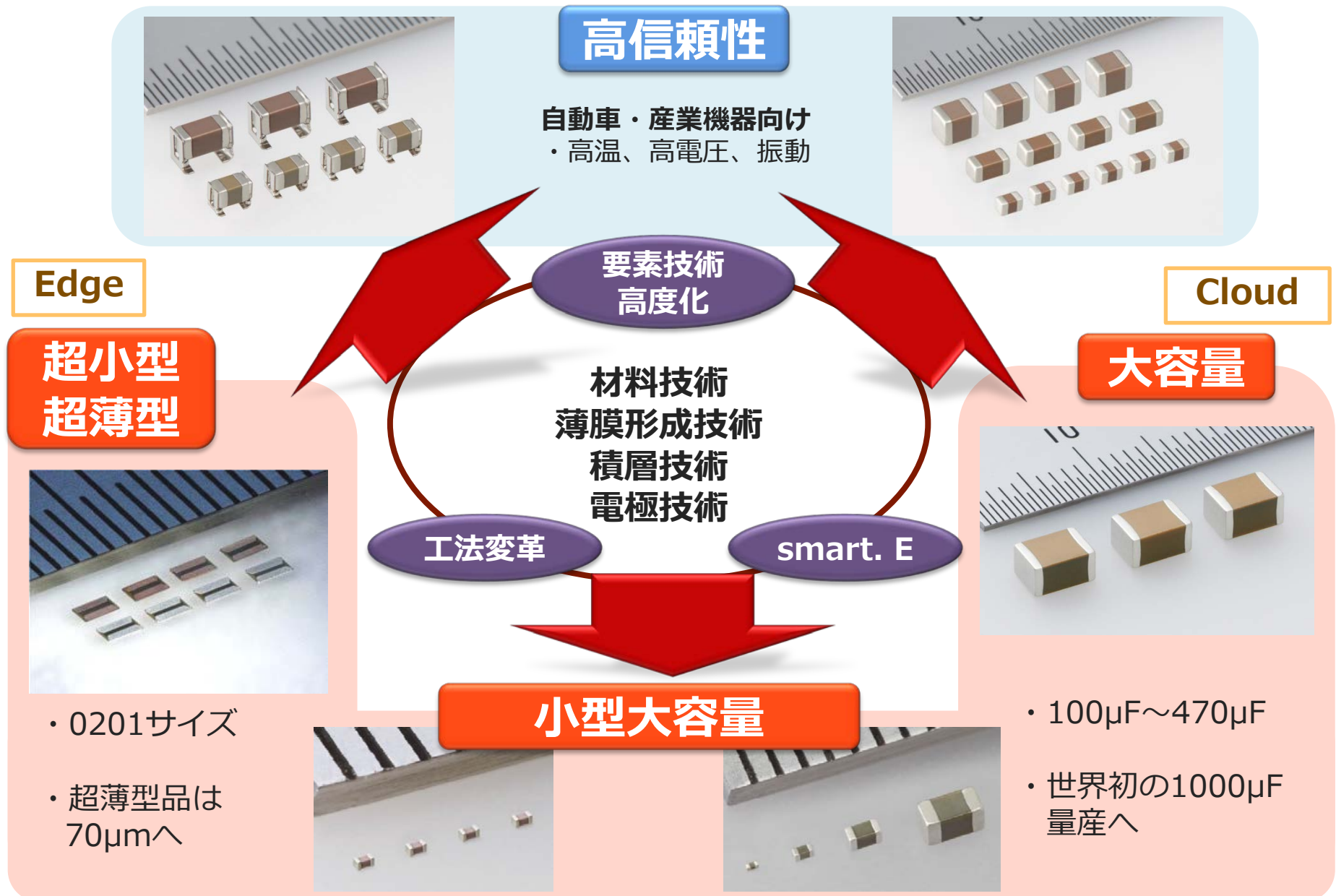
IoTの進展と電子部品の需要拡大

インターネットにつながるデバイス数



電子部品の
爆発的な需要拡大

コンデンサ事業の方向性



インダクタ事業の方向性

高周波対応

High-QからMega-Qへ



超小型 超薄型

高周波ノイズ対策



高信頼性

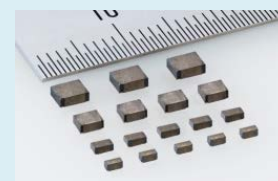
車載向けSMDパワーインダクタ

- ・ パワートレイン向け
- ・ 150℃高温対応、耐振動性
- ・ 品質管理（トレーサビリティ）



ラインアップ 拡充

特に車載・産機向けへ



要素技術
高度化

材料技術
コンポジット材料技術
薄膜形成技術
印刷/積層技術
巻線技術

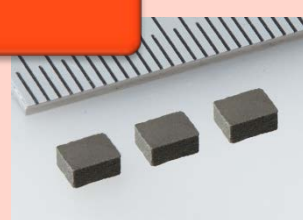
工法変革

smart. E

小型大電流

メタル系パワーインダクタ「MCOIL™」

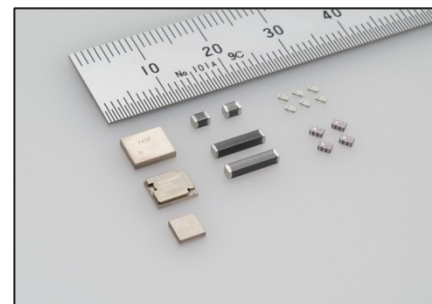
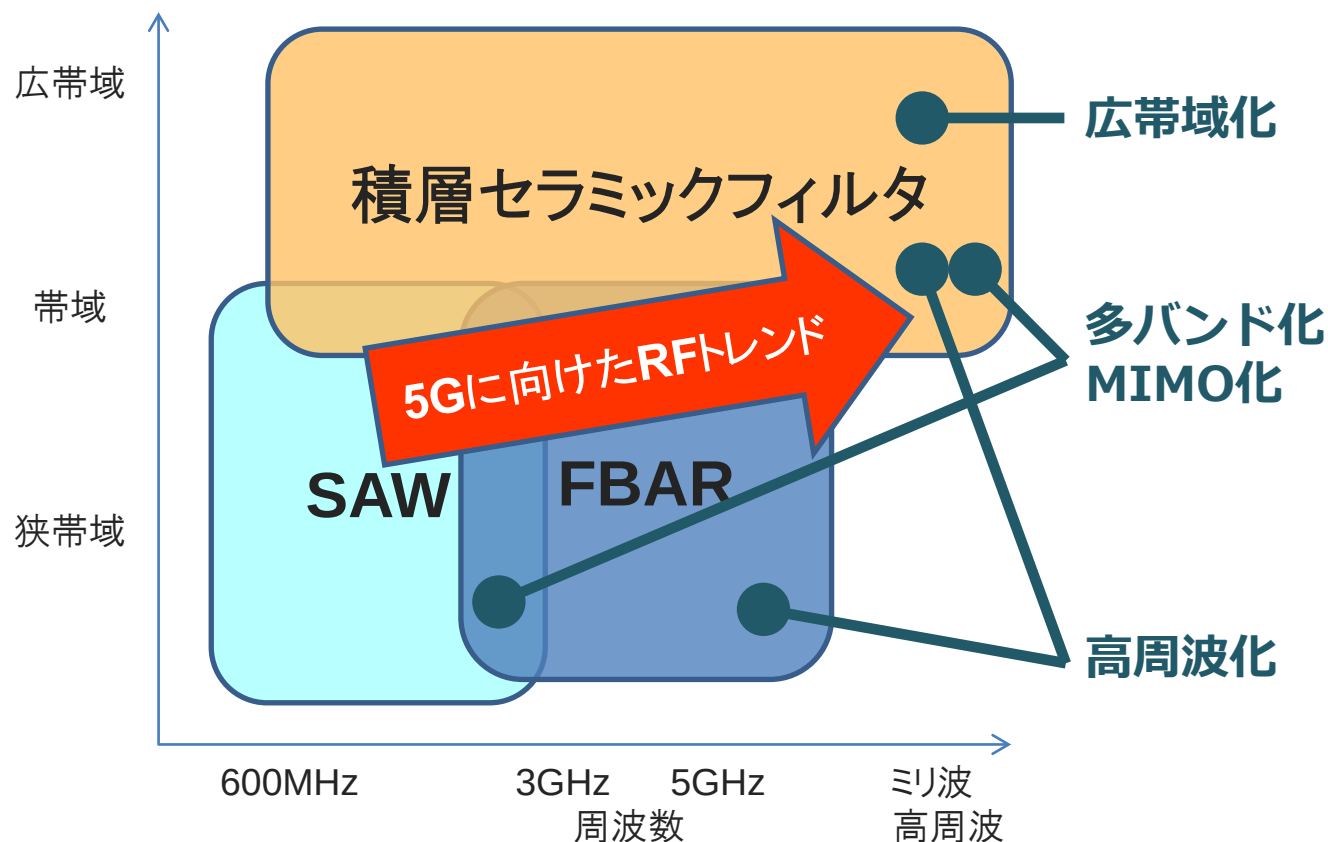
- ・ 高速スイッチング対応
- ・ 積層タイプ、巻線タイプ



通信デバイス事業の方向性

SAW/FBAR/セラミックの複合技術でオンリーワン商品を目指す

5G（次世代通信技術）に向けたRFトレンド



『コト』の提供

センシングから通信・クラウドまで

センシングデバイス（五感センサ）+ MRLD

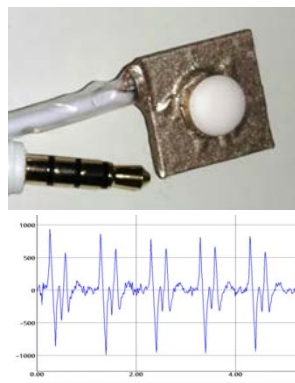
アクチュエータ（圧電素子）



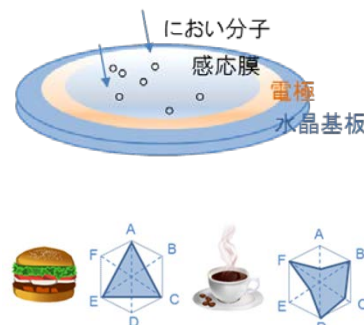
触覚技術

ハイレゾイヤホン

圧電圧力波センサ



においセンサ

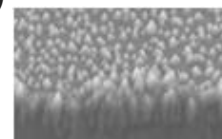


機能性表面処理膜

先端コーティング 処理技術



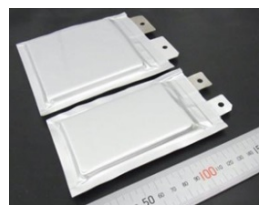
印刷マスク



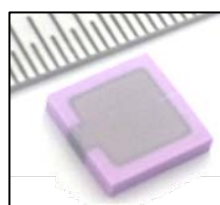
nm針状コート

エネルギーシステム

LITHOSION™ (リチウムイオンキャパシタ)



全固体リチウム イオン二次電池



PVモニタリング



エネルギー回生



ビジネスモデル確立

光無線通信システム



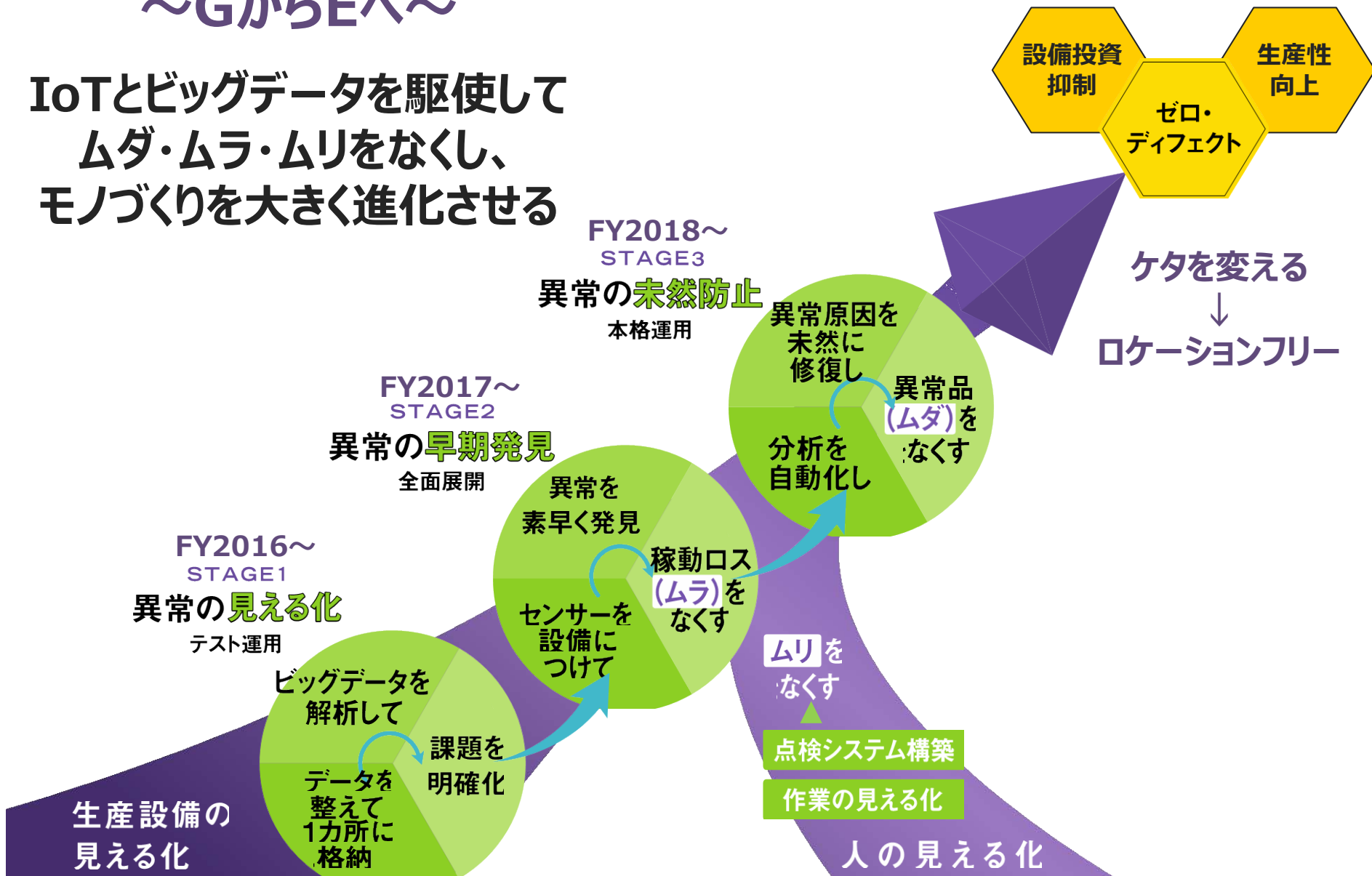
送受信ユニット 監視カメラ

他社との協業、アライアンスを活用し、事業化と拡大を加速

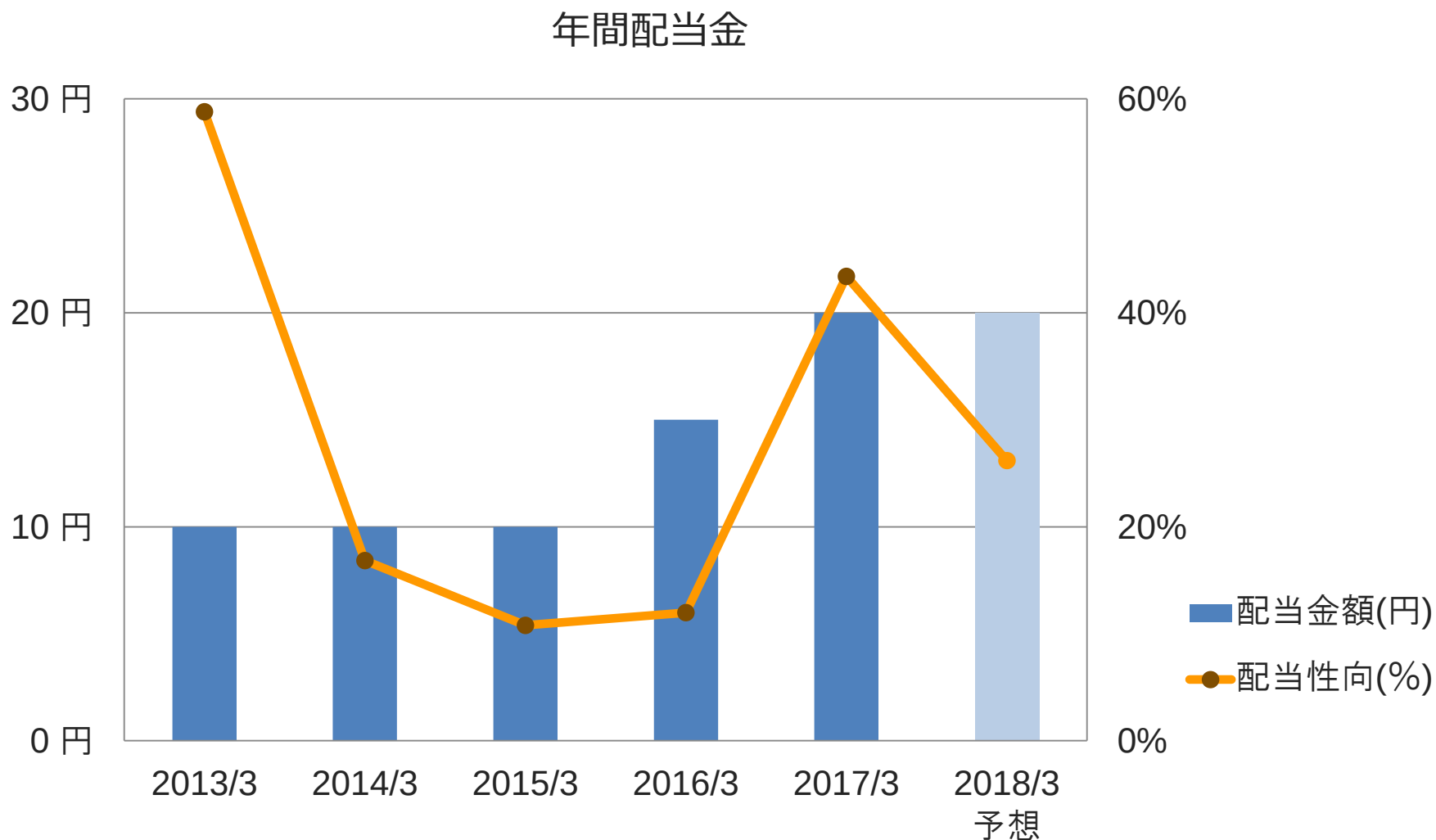
「smart.Eプロジェクト」モノづくりの進化

～GからEへ～

IoTとビッグデータを駆使して
ムダ・ムラ・ムリをなくし、
モノづくりを大きく進化させる



配当方針



中期目標

安定的な総還元性向30%を目指す
(配当+自社株買い)

当資料に記載されている、当社（太陽誘電株式会社、および当社グループ）に関する計画、業績見通し、戦略、確信等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことから、当資料に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

TAIYO YUDEN